

夜間ゼミ 野菜栽培の基礎知識

6. 葉菜類、根菜類など

1) ホウレンソウ



岐阜県は、夏は高冷地、冬から春は、平坦地で栽培されており、1年を通して出荷ができる。

特に夏ほうれんそうは京阪神、中京市場でトップシェアを占めており、市町村別の生産量は高山市が全国1位と最も多い。

①特徴

名 称：ホウレンソウ

植物分類：アカザ科 1年草

原 産 地：コーカサス地方（ロシア南部）

利用部位：茎と葉

利用方法：おひたし、炒め物

主産地：千葉県、埼玉県、群馬県、茨城県、
宮崎県、岐阜県（6位）



②生育と環境

温度：冷涼な気候を好む。暑さには弱く25℃以上だと病害が発生する
低温で日の長さが短い状態で栽培した方が品質が良い。

土と水：根が深く伸びるので、土が豊富で土づくりしてある畑が良い。

土の酸度（pH）がアルカリ性を好み、酸性に弱いので注意。

成長：種まき後の成長は遅いが、葉がある程度出てきた（10枚ほど）
頃になると急激に成長が早まる。

③ 作型

ア 雨よけ栽培（中山間地域、高冷地）

地域：高山市、飛騨市、下呂市など

立地：夏でも25℃を超えない地域

（標高400～1200m）

畑条件：雨をさけるため、簡易なパイプハウスを導入する。土が深くまであり、水はけが良い

作付け：春から秋、年に3～4回

イ 露地栽培（平坦部）

地域：美濃地方（岐阜市）など

立地：寒さには強いが、雪が積もらない地域

畑条件：土が深くまであり、水はけが良い

作付け：秋から冬まで



ハウス栽培



露地栽培

2) アスパラガス

①特徴

名称：アスパラガス

植物分類：ユリ科 多年草

原産地：ヨーロッパ南部から
ロシア南部

利用部位：茎菜類、若い芽

利用方法：ゆで、揚げ物、焼き物

主産地：北海道、長野県
佐賀県、長崎県、熊本県



②生育と環境

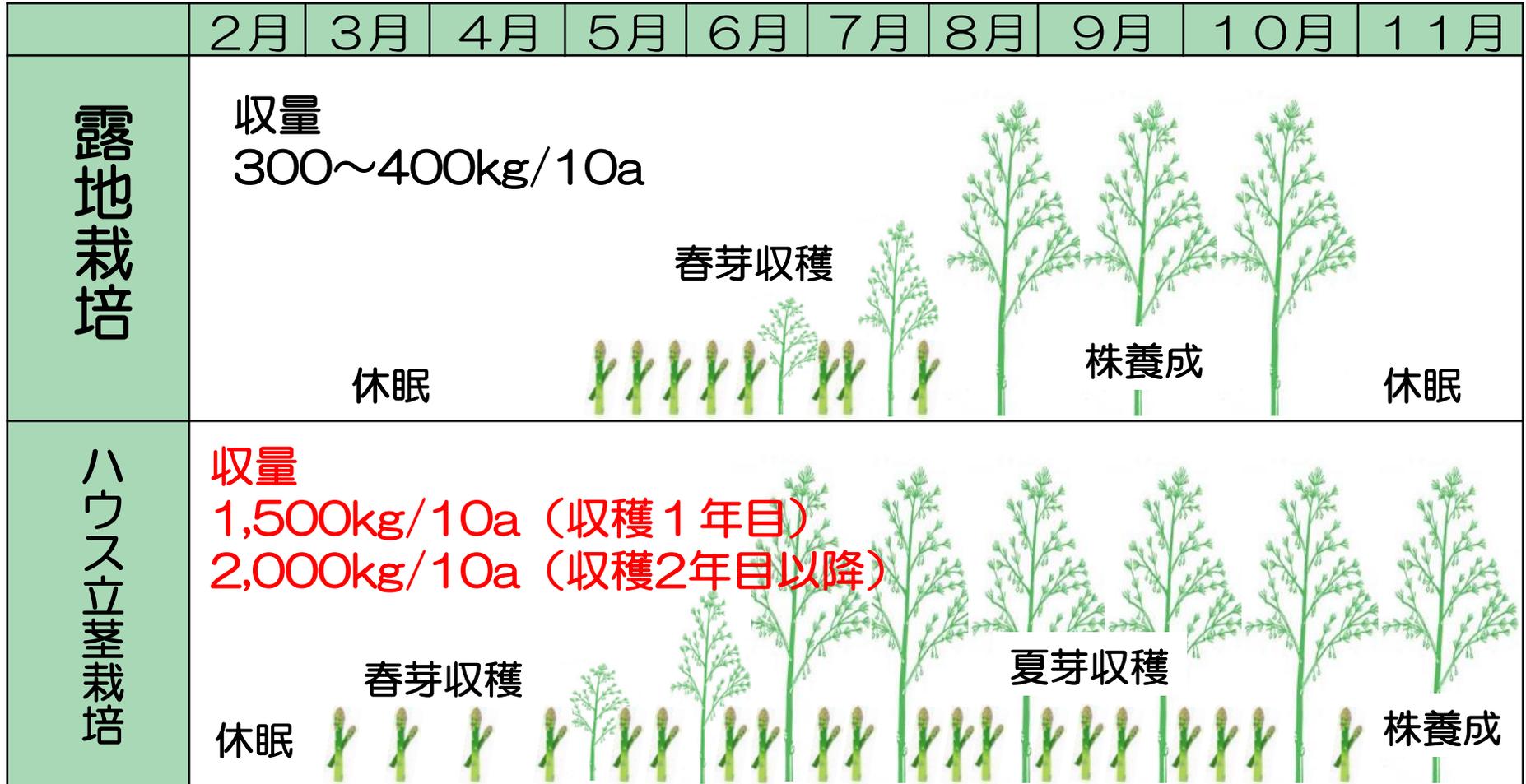
温度：冷涼な気候を好む、高温多湿だと病気が発生する
生育適温 16～20℃

土と水：アスパラガスは、根（地下茎も含む）が重要な役割を持っており、良質な土が必要。よって土づくりが大切である。

③作型

- ・露地栽培：北海道・長野県など
- ・ハウス立茎栽培：佐賀県、長崎県など

露地栽培とハウス立茎栽培の違い



岐阜県では、岐阜地域（岐阜市・羽島市）を中心にハウス栽培が増えている

④ 栽培管理

ア 畑の準備

長年（10年以上）栽培するため、植え付ける前の土づくりは重要である。
完熟した堆肥を植え付ける場所に溝を掘り大量に入れる。

イ 種まき

種まきは、温度を上げることが出来る簡易なハウスがあれば可能である。

ウ 植付け（定植）

寒さの心配なくなった時期に植付けを行う。植付け後は十分に水をやる。



土づくり（堆肥を大量に入れる）



苗づくり



植付け

エ 植付け後の管理

植付け後は、細い茎を1mほど伸ばすが、折れやすいため、支柱やネットを使い、茎が倒れないように固定する。

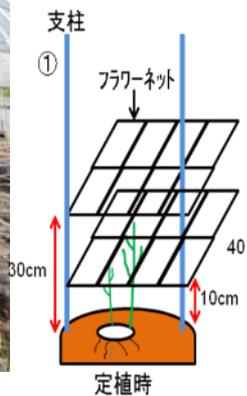
収穫が行えるような芽が出るには、栄養を根にため込む必要があるため、植付け後2年程度は、収穫を行わず、株を大きくすることに専念する。

オ 収穫

アスパラガスは、鮮度が低下しやすいため、涼しい時間に収穫を行い冷蔵庫などで保存してから出荷する。



支柱とネットで固定



25cm以上伸びたら収穫



規格に合わせて出荷

3) ブロッコリー



県内では秋から冬場を中心に栽培されており、水田を利用した栽培によって面積が増えている。

①特徴

名称：ブロッコリー

植物分類：アブラナ科 1・2年草

原産地：ヨーロッパ

利用部位：花らい（つぼみ）

利用方法：ゆでサラダ、炒め物

主産地：北海道、埼玉県、愛知県
香川県、徳島県

②生育と環境

温度：暑さ寒さには比較的強いが、25℃以上や5℃以下では生育は良くない。

環境：花の蕾を利用するため、花をつけさせる必要がある。花をつけるには、冷涼な気候が良い。

4) コマツナ、その他葉菜類

①コマツナ

神戸町、岐阜市を中心に栽培されています。

神戸町ではハウスによる周年栽培がおこなわれており名古屋、北陸、県内の市場に出荷しています。

アクが少なく、味にくせがない為、おひたし、炒め物などに用いられます。



②ミズナ、グリーンねぎなど

神戸町の下宮地区は、古くから「畑どころ」といわれ、この地域独特の名産品を生み出してきた。ほかの都市との流通を容易にする新しい都市近郊型農業や、更なる土づくり、高い生産性を誇る集約型農業への転換など、優れた産地を目指している。



5) ダイコン

夏ダイコン
郡上市



秋冬春ダイコン
岐阜市



岐阜県では、夏は郡上市「ひるがの高原」を中心とする高冷地で栽培し、秋冬と春は岐阜市を中心とする平坦地で栽培されており、1年を通してだいこんを出荷している。

6) ニンジン



春夏・冬ニンジン
各務原市

岐阜県では、各務原市を中心にニンジンが栽培されている。

こちらでは、5月から6月に収穫される「春夏にんじん」と、11月から12月に収穫される「冬にんじん」の年2作どりを行っている全国でも珍しい産地。



7) 岐阜県で野菜栽培するには (まとめ)

ろ地野菜

エダマメ、ホウレンソウ、ナス
ブロッコリー、ニンジン、ダイコン
サトイモ、キャベツ、タマネギなど

栽培面積：大規模80～100 a 以上

施設機械：トラクター

植え付け機、収穫機

出荷調整室など

ハウス野菜 (施設野菜)

トマト (夏秋、冬春)
イチゴ、キュウリ、コマツナ
アスパラガス、など

栽培面積：小中規模20～30 a

施設機械：ハウス施設

暖房機、環境制御機

養液栽培システム

出荷調整室

どこで何をどの
ように作るか
品目・場所



作りたいものがあるれば、産地に行く
場所が決まっていれば、そこで作られ
ている作物を作る。じっくりと選んで